



# たつおか 四季報

令和3年度夏号 (NO. 44)  
発行：竜丘地域自治会  
編集：地域振興委員会  
問合せ先：(0265) 26-9303

## 共に健康で支え合える地域へ！～福祉健康委員会紹介～

竜丘でも近年、少子高齢化や家族世帯の変化、高齢者世帯の増加、人と人のつながりや地域に対する関心の薄れが目立ってきています。地域福祉とは住民相互の支え合い「共助」理念に基づいて築き上げて行くものだと考えから、地域の皆様への福祉の橋渡し役として活動しています。委員会の仕事は多岐にわたっておりますが、主なものについて説明します。



地域防災における「災害時助け合いマップ」の取組から始まった支え合いマップ整備は、災害時だけではなく日常の見守り支え合い活動につなげていけるということで、今では地域福祉活動の基となる「住民支え合いマップ」として、各地区で毎年更新をして充実を図っています。また、竜丘では昨年から本格的に始まった福祉有償移送サービスは、利用者の社会参画を促すとともに、地区内での支え合い活動の促進を図るものです。

委員会では日常の外出時、バス、タクシー等の利用困難者で、要介護、要支援の認定者や身障者手帳等の交付を受けている人を対象に利用会員とサポートするドライバーさんへの支援をしています。次に、地域住民がいつまでも元気で健康に生活していけるための活動として、介護予防フォローアップ教室を開催していますが、その運営を担うボランティアサポーターへの支援も行っています。



今後も社協や民生児童委員と連携をとりながら地道に活動をしてまいりますので、委員会へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。(福祉健康委員長 伊原 広隆)

## オール竜丘「地域全体、みんなで取り組む」

自治会の運営については地域の皆さんに常日頃ご理解とご協力いただき敬意を表します。善良な市民が大多数(マジョリティ)のなかで、僅かな不心得者(不法投棄・交通違反等々)、非常識、個人主義の少数(マイノリティ)に影響される社会はとても健全とは言えません。

最近、「地域全体で担う」「みんなで取り組む」「すべての住民が一体となって」「地域ぐるみの体制づくり」とよく使うが何を意味しているのか？

飯田市自治基本条例によると市民とは、市内に住所を有する人(以下住民といいます)、市内で働き、もしくは学ぶ人又は市内において活動する人もしくは団体をいいます。自治とは、市民が市政に参加し、その意志と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。

また、市民の役割として、「市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。」と表記しています。

現状は社会構造の変化等で、地域の活動に出ない他人任せの人が増え、自治会・区の役員に活動・作業が集中し負担もそれゆえ多く、「役員になりたくない」との声もあり、地域自治組織の役割と運営に支障をきたし始めた。事業を減らし役員負担も減らすには、「みんなで取り組む」「地域ぐるみの体制づくり」を担保する住民コンセンサスが必要なことから検討していくことにご理解を。最低誰かが行わなければ地域は荒廃してしまう。(竜丘地域自治会会長 下平 勝熙)



水辺の楽校整備作業中！



水辺の楽校整備作業後々

## 竜丘の隠れ名所臼井秘境！～新しい橋完成～

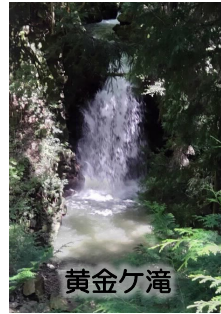
梅雨の晴れ間に、昨年度女性委員小林さんの案内で臼井秘境へ行ってきました。三日市場から上川路へ流れ下る臼井川の途中にある約2kmの雑木林に囲まれた谷で、念通寺断層が臼井原丘陵を持ち上げたために川の勾配が急になっています。

昨年秋、地域振興委員会事業で遊歩道整備を行っていた

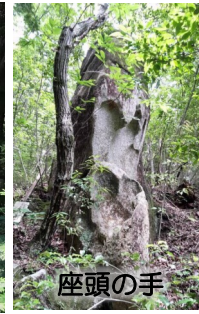


新しい橋

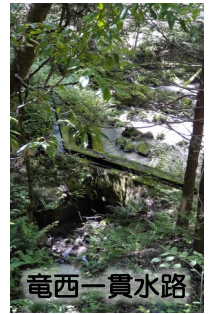
だき、老朽化した丸太橋は新しくしっかりした橋に架け替えられておりました。整備委員会作業で下草を刈ってもらった後だったので歩きやすかったです。ただ、遊歩道の中間は道幅が狭く険しくなっているので歩いている時に注意が必要です。



黄金ヶ滝



座頭の手



竜西一貫水路

黄金ヶ滝、花崗岩の岩塔座頭の手、ポットホール馬桶石、駒の蹄跡、途中で竜西一貫水路が川を横切り遊歩道の脇を通っています。秘境の入り口には竜丘の桃源郷と表現したくなる原風景が広がっています。

この景観をこれからも地域で守ってほしいと思いました。（長野原女性委員 関嶋 淳子）



里山風景



秘境入口の田

## 里山愛護会活動再開しました！



里山愛護会の活動が数年ぶりに再開しました。手始めに自治振興センター周辺の整備をすることにしました。公民館西側に大きく成長した「水槽の木」を伐採しました。記念樹として愛でた木を切ることは大変心苦しくありましたが、建物への影響を鑑みてやむを得ないことでした。

会員の年齢が高齢化しており、ご理解のある方の参加をお待ちしております。（里山愛護会会長 牧内 利郎）



## 竜丘 四季折々の植物〈6〉 ～ 外来種に注意！ ～

7月18日（日）午前7時から8時半頃まで、天竜川除草作業及びアレチウリ駆除作業が実施されました。竜丘地域自治会、地域振興委員会、竜丘公民館関連の大勢の方々と広範囲にわたり天竜川河川敷の草刈り、アレチウリの抜き取り、オオキンケイギク（大金鶏菊）の抜き取りを行いました。

アレチウリとオオキンケイギクは特定外来植物に指定されています。あちらこちらで繁殖しているアレチウリは、北米原産のウリ科の一年生草本の大型ツル性植物で、5月から10月頃まで芽生えは続きます。根やツルが存在する限り生き続けるため、必ず根を引き抜く必要があり、できるだけ小さいうちから種をつける前で年に数回（6月中旬、7月下旬、9月上旬）こまめに駆除することが効果的と考えられています。春に発芽し、夏には著しく旺盛な成長により、長いもので10m以上のツルを伸ばしながら他の植物にツルで絡みつき一面を覆いつくすように広がる危険な植物です。



除去頑張った！



アレチウリ

私の家の柿畑にもアレチウリが毎年増殖し続けており抜き取り作業を継続しているところです。手や鎌で強引に引きちぎる処理は、その場しのぎにしかありません。地道な作業ですが、「手で根ごと一本一本引き抜く」ことが駆除の近道のように。（上川路女性委員 木下 玲子）



オオキンケイギク